

市町の令和元年度の実組状況及び
令和2年度の実組等について

【広島市】〔資料1の再掲〕

行動目標	取組内容	令和元年度の取組実施状況	令和2年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種広報媒体により以下の内容を広報する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害に関する一般知識 ・ 災害に対する平素からの備え ・ 防災情報の意味 ・ 防災情報を入手した際の安全確保行動等 ○ 既存の防災普及啓発冊子を更新し、「たちまち防災」として発行予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島市HPや、市政出前講座、講演会・研修会、各種イベント等により、災害に関する一般知識や、平素からの備えを周知した。 ・ 広島市防災普及啓発冊子「たちまち防災」を発行。今後、講演会や防災訓練で配布するほか、たちまち防災を活用した地域防災リーダーによる研修等を実施予定。 	<p>継続して取り組む。</p>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難勧告等の伝達 ○ 避難情報の入手方法の周知 <u>緊急速報メールの活用</u>の周知 ○ 広島市防災情報メールの登録促進 <u>配信システムを更新し、小学校区単位で配信先を選択できる</u>よう改修予定 ○ 防災受信機の利用促進 ○ <u>Webカメラの設置補助</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島市防災情報メールの機能を拡充した。（区単位での配信から小学校区単位で配信に改修）これにより、不要なメールが届く頻度が減り、避難情報の効果的な伝達が可能となった。 ・ 防災受信機や防災ライブカメラの設置補助制度を設け、災害の危険性を察知する手段を確保するための支援を行った。 	<p>継続して取り組む。</p> <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難誘導アプリの周知。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災訓練に対する補助 ○ 地域独自の防災マップ「わがまち防災マップ」の作成支援 ○ 現在地の危険度の確認や、その場所から適切な指定緊急避難場所等へ誘導するための避難誘導アプリの開発（令和2年4月運用開始予定） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練の実施に係る補助金を交付する制度を設け、自主防災組織が効果的な訓練を実施できるよう支援した。 ・ 地域の危険性を自ら確認し、災害に備えることのできる「わがまち防災マップ」の作成を支援した。 ・ 現在地の危険度の確認や、その場所から適切な避難場所等へ誘導するための避難誘導アプリを開発中（令和2年4月運用開始予定） 	<p>継続して取り組む。</p> <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難誘導アプリの周知。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災講演会や研修会等の開催に対する支援 ○ 講演会・研修会・市政出前講座の開催 ○ 災害を迫体験できる取組の推進 ○ こどもを対象とした防災体験学習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2月2日に防災シンポジウムを実施し、近年の災害や気象に関する講演や、市内で活動が活発な団体の活動紹介を実施した。 ・ その他、各区や地域で防災に関する研修会や出前講座を実施した。その他、自主防災組織と連携し、夏休み期間中に避難所となる体育館等を利用した防災体験学習「防災キャンプ」を開催した。 	<p>継続して取り組む。</p> <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 普及啓発冊子「たちまち防災」を活用し、地域防災リーダーが研修を実施する。
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダーの養成事業の実施 ○ 企業や各種団体が開催する防災イベントと連携し、日頃からの備えを啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の自主防災会長をサポートし、防災面でリーダーシップの取れる広島市地域防災リーダーの養成を実施。 ・ 各種防災イベントにおいて非常持ち出し品の必要性や見本等を示し、日頃からの備えを啓発した。 	<p>継続して取り組む。</p>

【呉市】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組 実施状況	令和2年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 津波ハザードマップ（呉市全域）の作成及び配布 ○ 津波ハザードマップを作成し、対象地区各戸に配布・ホームページへ掲載 ○ 土砂災害ハザードマップを作成し、対象地区各戸に配布・ホームページへ掲載 ○ 土砂災害ハザードマップ（音戸地区、昭和地区、天応地区、倉橋地区、郷原地区、蒲刈地区、豊地区、豊浜地区）の作成及び配布 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 津波ハザードマップ（呉市全域）、土砂災害ハザードマップ（音戸地区、昭和地区、天応地区、倉橋地区、郷原地区、蒲刈地区、豊地区、豊浜地区）とともに、令和元年度中に作成し、令和2年度初旬に対象地区の自治会を通じて各戸配布するとともに、ホームページへ掲載する予定。 ○ 「避難の手引き(大雨編)」というチラシを改訂し、出水期前に、自治会を通じて各戸配布。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土砂災害ハザードマップ（川尻地区）の作成、配布及びホームページへの掲載。 ○ 洪水ハザードマップ（野呂川（安浦地区））の作成、配布及びホームページへの掲載。 ○ 高潮ハザードマップ（呉市全域）の作成、配布及びホームページへの掲載。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災情報メールの登録促進 ○ 防災行政無線難聴地区調査の継続 ○ 避難勧告等の避難情報の住民への伝達 ○ 避難勧告等や気象情報等の入手方法の周知 ・ 防災研修、出前講座、イベント等の機会を利用した避難情報の入手方法の周知 	<p style="text-align: center;">継続実施中</p>	<ul style="list-style-type: none"> 継続して取り組む。 ○ 避難勧告等の避難情報の住民への伝達（新たな情報伝達媒体として一斉電話伝達サービスの導入）。 継続して取り組む。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合防災訓練の実施より、住民の適切な避難行動の確認などを促進 ○ 地域が主体となった避難訓練の実施を継続 ○ 各自治会・自主防災組織での避難訓練・まちあるき点検等により、避難行動の確認等を促進 ○ 防災研修、出前講座、防災訓練等で災害から命を守るために必要な行動（災害の種類に応じた自らの判断による避難行動（垂直避難、高台避難等））や危険を感じた時は避難勧告等の有無にかかわらず、避難行動を行うことの重要性について周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度呉市総合防災訓練については、令和元年11月22日に実施 ○ 継続実施中（令和元年12月末時点で、221団体が避難訓練等を実施） <p style="text-align: center;">継続実施中</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内全域での一斉避難訓練を実施。 継続して取り組む。

<p>学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災教室，出前講座，住民説明会，防災訓練等で実施し，防災意識の高揚を促進 ○ 学校で防災に関する教育活動を実施 ○ 防災リーダー対象の避難所運営ゲームの実施。 ○ 総合防災訓練の実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・住民，企業，防災関係機関が一体となって，災害を想定した実践的な訓練を実施 ・各種体験や展示コーナーを設置 ○ 国際交流フェスでの防災関係ブースを設置 ○ KURE 防災かいぎのイベントで防災関係のブースを設置 ○ 男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営マニュアルを作成し，自治会等に配布 	<p style="text-align: center;">} 継続実施中</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度呉市総合防災訓練については，令和元年11月22日に実施 ○ 令和2年2月16日に実施された国際交流フェスで防災関係ブースを設置 ○ KURE 防災かいぎは令和2年3月28日に開催予定であり，防災関係のブースを設置予定 ○ 避難所運営マニュアルについては令和元年6月に改正。 	<p style="text-align: center;">} 継続して取り組む。</p> <p>令和2年10月頃 実施予定</p> <p>令和3年2月頃 実施予定</p> <p>令和3年3月頃 実施予定</p>
<p>備 える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災研修，出前講座，防災訓練等で，避難の方法の事前確認や，非常持ち出し品，備蓄品の用意などについて周知 ○ 防災リーダー養成を促進 ○ 自主防災組織の結成促進と活動の活性化を図る。 	<p style="text-align: center;">} 継続実施中</p>	<p style="text-align: center;">} 継続して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 備蓄物資の充実を図る。

【竹原市】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組実施状況	令和2年度の取組等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座や市広報誌等を通じて、身の周りの災害危険箇所や状況に応じた避難経路及び避難場所等を共有 ○ 災害に関する基礎知識や市内の危険区域、避難所など最新の情報をまとめたハザードマップを作成し、各世帯へ配布 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座や住民自治組織による実践訓練、市広報紙などを通じて、地域での災害リスクや避難経路及び避難場所を共有した。 ○ 各種災害に対する備えや対処方法等の災害時に役立つ情報や、各種災害発生時の危険箇所をまとめたハザードマップを作成し、市民に全戸配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップ地域説明会により発災時の各地域におけるハザードマップの利活用方法の講習。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民の避難行動の判断材料となる気象情報や河川情報の内容、取るべき行動、情報の入手手段について、出前講座等の機会を捉えて市民へ周知 ○ 梅雨や台風時期前に広報誌にて災害の前兆などの話題を取り上げて注意喚起を図るとともに、メールサービスや屋外拡声器等を使用した防災情報の積極的な発信 ○ 防災情報を迅速的確に伝達できるよう告知放送設備の円滑な運営 ○ メール配信サービス及び防災情報電話の登録促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ○ 梅雨や台風時期前に広報紙、地元ケーブルテレビにて災害の前兆などの話題を取り上げて注意喚起を図るとともに、メールサービス、SNS、屋外拡声器等を使用した防災情報を積極的に発信した。 ○ 左記の取組を実施した。 ○ メール配信サービスの登録促進を広報紙等で呼びかけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会長のメール配信サービス及び防災情報電話の登録拡充による連絡体制の強化。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市総合防災訓練、各地域の住民自治組織による地震や風水害を想定した実践訓練を消防機関と連携して実施 ○ 半固定化している訓練参加者に若年層（中学生等）を加える。 ○ 地域特性を踏まえた防災訓練の実施を助言 ○ 自治会等を中心にまち歩きによる防災マップの作成、各戸への配布 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ○ 自治会と連携し、市防災訓練に中学生が参加した。成果を地域に持ち帰り、中学生が企画した防災訓練を地域において、実施した。 ○ 左記の取組を実施した。 ○ モデル地区として忠海東地区において、避難訓練やまち歩きによる防災マップの作成を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種団体等への出前講座の実施、住民自治組織への広島県自主防災アドバイザー派遣による災害図上訓練D I Gを実施 ○ 防災リーダー等を対象とした「防災リーダー研修」を開催 ○ 広島県自主防災アドバイザーを通じて、教育委員会による防災担当教職員への研修、児童等への防災学習等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ○ 地域防災リーダー育成講座を開催し、地域防災リーダーとして〇名を認定した。 ○ 広島県自主防災アドバイザーを通じて、市内小中学校長を対象に災害図上訓練（D I G）を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。

備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ あらゆる機会を捉えて、備蓄物資（ローリング）や非常持出品の啓発 ○ 市としても非常食・飲料水、毛布等の備蓄を推進するとともに、備蓄箇所を増加 ○ 避難行動要支援者の避難対策、有事の際の連絡体制を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民自治組織による実践訓練の際に、備蓄物資の調理及び試食を実施した。 ○ 市広報紙、地元ケーブルテレビ、出前講座を通じて非常持出品の啓発をした。 ○ ラストマイル物資輸送訓練による備蓄の輸送等技術の向上。 ○ 避難行動用支援者名簿の更新及び庁内の体制の確立。 	} 継続して取り組む。
-----	--	--	-------------

【三原市】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組実施状況	令和2年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土砂災害ハザードマップの作成 ○ まちなか防災標識の設置 	} 左記の取組を継続実施中。	} 継続して取り組む。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三原市メール配信システムでの災害情報等の周知 ・出前講座等により三原市メール配信システムの登録を促した。 ○ FM告知端末を順次配付 ○ コミュニティFM放送局の開設 	} 左記の取組を継続実施中。	} 継続して取り組む。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座等による防災訓練支援の実施を行った。 ○ 住民参加型の防災体験会を計画し、3月に実施予定 ○ 住民防災訓練の計画 	} 左記の取組を継続実施中。	} 継続して取り組む。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災リーダー養成講座の計画 ○ 自主防災組織・町内会等への出前講座の実施（三原市防災士ネットワークと共同で実施） ○ 防災講演会の計画 12月8日に気象予報士を招き防災講演会を行う予定 ○ 自主防災組織連絡協議会総会での情報提供及び防災講演会を実施した（6月2日） 	} 左記の取組を継続実施中。	} 継続して取り組む。
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織への支援内容の充実 ○ 地域防災リーダー養成講座の開催 ○ 備蓄計画に基づく整備・備蓄 	} 左記の取組を継続実施中。	} 継続して取り組む。

【尾道市】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組実施状況	令和2年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 暮らしのガイドブックに掲載している防災マップにより、転入者に対して市内の災害危険箇所、避難場所等を周知 ○ 市民を対象に災害の基礎知識と防災対策についての防災出前講座を実施する。 ○ 指定避難場所及び指定緊急避難場所へ対応する災害の種類と海拔を明示し看板を設置 ○ 地域住民が主体となって、地域の災害危険場所や避難所、避難経路等を記した地図を作成し、防災情報を共有することで、災害時の速やかな避難行動の促進を目指す。 ○ 土砂災害危険区域の指定等に合わせて総合防災マップを更新し、全戸配布することにより、市民に危険箇所の認識を深めていただき、避難行動の促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施中 ○ 左記の取組を実施中（52団体、約2,700名を対象に実施）R2.3月末現在 ○ 左記の取組を実施中 ○ 本年度4団体が作成。R2.3月末現在 ○ 左記の取組を実施中（土砂災害警戒区域の指定に伴い、本年度業者と委託契約を締結し、令和2年度完成予定） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 令和元年度で事業完了 ○ 継続して取り組む。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災出前講座、地域の防災訓練、市HP等により「市安全・安心メール」への登録を促進する。 ○ 防災出前講座・市HP等により「市安全・安心メール」「尾道市公式LINE」への登録促進を継続 ○ 大雨や台風接近により、災害の発生が見込まれる際に、気象情報や避難情報等を伝達する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施中（市安全安心メール登録者が8,870人）R2.3月末現在 ○ 左記の取組を実施（LINE登録者が26,846人）R2.3月末現在 ○ 左記の取組を実施中 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 【新規】 ○ 市全体に迅速かつ確実に防災情報を伝達するシステムを整備するため、送配信局を整備し、希望者に対し、戸別受信機を配布。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災出前講座等で自助・共助の重要性と自主的な避難行動の必要性を周知 ○ 避難行動要支援者名簿の作成・更新を実施 ○ 避難行動の必要性の周知と避難行動の実践を目的に市全域で一斉避難訓練を実施した。 ○ 災害時に住民の避難を促すため、地域が所有する身近な集会所等を地域の避難所とすることにより、避難しやすい環境作りを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施中（52団体、約2,700名を対象に実施）R2.3月末現在 ○ 左記の取組を実施中 ○ 左記の取組を実施中（52団体、約2,700名を対象に実施）R2.3月末現在 ○ 左記の取組を実施中（25施設が地域の避難所として市に登録）R2.3月末現在 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。

<p>学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民を対象とした防災出前講座を開催し、災害から身を守るために必要な行動を周知 ○ ケーブルテレビやエフエムラジオに出演し、災害に対する備えや避難方法など、防災情報の周知 ○ 防災フェアを開催し、起震車体験・消防梯子車搭乗体験・災害車両の展示等を通じて防災意識の高揚を促進 ○ 防災リーダー育成講座を開催し、地域の防災リーダーを育成 ○ 市民の参加により市全域で防災訓練を実施し、市民の防災意識を高める。 ○ 防災士ネットワーク会員による意見交換会を実施し、地域防災活動の情報共有と取組みの契機づくりを行った。 ○ 市民に、実際に市内で発生した災害の状況や火災現場等の映像を見ていただくことにより、身近に危険があることを認識してもらい、市民の避難行動の促進や防災、防火意識の高揚を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施中 (52 団体, 約 2,700 名を対象に実施) R2.3 月末現在 ○ 左記の取組を実施中 ○ 左記の取組を実施中 (11 月 2 日の防災フェアに約 1,000 人が参加) ○ 8 月と 12 月に実施し、防災リーダーが 70 名増加(合計 336 名) ○ 9 月 1 日(日)に約 5,400 名の市民の参加により市全域で防災訓練を実施し、市民の防災意識を高めた。 ○ 左記の取組を実施し、市内の小中学校に DVD を配布。 	<p>継続して取り組む。</p> <p>○作成した教材を使用し、出前講座等で啓発を実施。</p>
<p>備 える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全市一斉防災訓練をはじめ各地域の防災訓練や複数回開催した防災出前講座を通じて非常持出品や家具の転倒防止等日頃からの備えを周知 ○ 防災リーダー育成講座を開催し、新たな防災リーダーを認定 ○ 自主防災組織への防災資機材購入助成を行い、災害時の共助体制を整備 ○ 地域で避難所運営訓練(HUG)を実施し、地域でスムーズな避難所運営ができる体制をつくる。 ○ 自主防災組織を結成していない自治会等に対して、組織を結成してもらう積極的な働きかけを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9 月 1 日(日)に約 5,400 名の市民の参加により市全域で防災訓練を実施し、市民の防災意識を高めた。 ○ 8 月と 12 月に実施し、防災リーダーが 70 名増加(合計 336 名) ○ 2 団体が補助制度を活用し、防災資機材を整備 ○ 自主防災組織や福祉施設で避難所運営訓練を実施 ○ 左記の取組を実施中 (本年度 6 団体が新たに自主防災組織を設立) 	<p>継続して取り組む。</p>

【福山市】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組実施状況	令和2年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域等が行う出前講座に防災リーダーを派遣し、地域の危険箇所の周知や地域の状況に応じた避難方法などを周知 ○ 地域の防災リーダーを養成するため福山防災大学を実施 ○ 自治会・自主防災組織を対象とした研修会や防災をテーマにした意見交換会の実施 ○ 災害別のハザードマップや備蓄品等の情報を掲載した「防災ガイドブック」についても引き続き、転入者へ配付する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ・令和元年度は87件のリーダーを派遣。 ○ 2019年（令和元年）9月～11月の3日間に福山防災大学を実施 ○ 左記の取組を実施した。 ・5月末に実施 ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 自治会・自主防災組織を対象に出水期に備えての活動チェックリストを送付 ○ 継続して取り組む。 【新規】 ○ 洪水ハザードマップの作成・周知
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災講座、出前講座等により、避難行動の判断材料となる気象情報、河川情報及び避難情報の意味と、とるべき行動、並びに情報の入手手段について周知 ○ 防災講座、出前講座等により、防災情報メールの登録促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ○ 災害情報電話通報サービスの導入（固定電話への音声ガイダンス） ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合防災訓練、避難訓練等により、適切な避難行動の確認などを促進（災害対応訓練5月24日、総合防災訓練11月24日） ○ 南海トラフ地震に備えて、地震・津波から市民の生命・身体を守るため、総合防災訓練（地震・津波災害）を実施 ○ 防災講座、出前講座等で災害から命を守るために必要な行動（災害の種類に応じた自らの判断による避難行動（垂直避難、高台避難等））や、危険を感じた時は、避難勧告等にかかわらず、避難行動を行うことの周知 ○ 防災リーダー連絡協議会と連携し、学区地区（避難）計画の作成など、地域防災活動の活性化を促進。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ○ 左記の取組を実施した。 ○ 左記の取組を実施した。 ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織、企業、学校等を対象とした防災講座、出前講座の実施 ○ 福山市防災ガイドブックを活用した出前講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。

備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災講座、出前講座等により、懐中電灯、着替え、常備薬などの非常用持出品の備え及び消費期限の確認の必要性を周知。 ○ 福山防災大学を開催し、防災リーダーを養成 ○ 自主防災組織等への防災講座、出前講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非常持出品の備え及び消費期限の確認の必要性の周知に関しては、防災リーダーの防災講座、防災ガイドブックの配布を通して、必要性の周知を行っている。 <p style="text-align: center;">左記の取組を実施した。</p>	} 継続して取り組む。
-----	--	--	-------------

【府中市】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組実施状況	令和2年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土砂災害ハザードマップ作成・周知（新たに指定の区域を対象） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ H30年度及びR1年度に指定された15地区を対象として防災研修（ワークショップ）を実施し、住民とともに土砂災害ハザードマップを作成。 	<p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 洪水ハザードマップを作成・周知（既存マップの更新）。 <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難所・避難場所に対応する災害の種類を明記した看板の設置。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 確実に避難情報を伝達するために、また被害の報告や連絡手段として町内会長にタブレットを貸与する。 ○ 市広報誌で防災特集を掲載する中で、登録制メールの加入促進を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 確実に避難情報を伝達するために、また被害の報告や連絡手段として一部町内会長にタブレットを貸与するとともに、全町内会長への一斉電話のシステムを導入した。 ○ 市広報誌6月号（防災特集）で登録制メールの加入促進を行った。 	<p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動要支援者等に確実に避難情報を伝達するために、一斉電話システムを導入する。 <p>○ 継続して取り組む。</p>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災会が実施する避難、防災訓練等に対し、活動費助成を行い、活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ○ 市全域で市民避難訓練を実施し、約3,400人が参加した。 	} 継続して取り組む。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市全域で市民避難訓練を実施。多くの市民の参加を促進するため、市広報誌に掲載する。 ○ 出前講座の開催 ○ 防災士ネットワークと連携した防災研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市全域で市民避難訓練を実施した。 ○ 市や防災リーダーが地域に出向いて、出前講座を4件実施した。 	<p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災シンポジウムを開催する。 <p>○ 継続して取り組む。</p> <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダーを対象としたスキルアップ研修会を開催する。
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織の活動を支援するため、防災士の養成を図る。 ○ 自主防災組織への防災資機材の購入助成を行い、共助の意識を高める。 	} 左記の取組を実施した。	} 継続して取り組む。

【三次市】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組 実施状況	令和2年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップのWeb化により、パソコン及びスマートフォンで最新の土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域、浸水想定区域及び避難所情報等を閲覧 ○ 5段階に区分変更された避難レベルにともなう周知と発令段階に応じて取るべき避難行動について、市広報誌、出前講座等により啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ○ 5段階避難レベル等→市広報紙や、地元CATV、出前講座等により啓発した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Web版三次市防災ハザードマップをホームページで公開し、土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域、浸水想定区域及び避難所情報等を閲覧できることを広報にする予定。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座や防災フェア等を通じて防災一斉メールや県防災Webへの登録についてチラシ配布等による啓発を予定。また、FAXによる防災一斉メール配信を広報する ○ ケーブルテレビ出演により防災情報を発信・周知するとともに音声告知放送及び市広報誌等による防災情報の周知啓発 ○ 音声告知放送による緊急放送をスマートフォン等の専用アプリ（コスモキャスト）により受信できるシステムを導入する 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ○ ケーブルテレビ出演等による防災情報を発信・周知→出水期前での啓発や防災の日にあわせた周知を行った。 ○ 左記の取組を実施した。 	<p style="text-align: center;">} 継続して取り組む。</p> <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 音声告知放送を補完する情報伝達の仕組みを検討する。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による避難訓練（避難所の開設・運営を想定した訓練）、情報伝達訓練、炊き出し訓練、消火訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による避難訓練に、避難所運営担当職員や危機管理課職員も参加し、防災訓練を協力して実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 【新規】 ○ 備蓄計画に基づく備蓄品の計画的配備。 ○ マイハザードマップによる防災訓練、学習の確保。
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域や事業所、学校等に出向いて出前講座 ○ 防災士ネットワークスキルアップ研修会を開催 ○ 自主防災組織役員、防災士を対象とした研修会等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 常会単位や、福祉事業所、学校施設に出向いて防災意識向上に伴う出前講座を行った。 ○ 防災士ネットワークスキルアップ研修会について、DIG、街歩きを実施した。 ○ 各自主防災組織の会長を対象に、広島県砂防課を講師に、土砂警等についての研修会を実施し、防災意識向上を図った。 	<p style="text-align: center;">} 継続して取り組む。</p>
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座や防災教室において非常持出品の準備や備蓄品の確保について、実物サンプル等を用いて説明 ○ 自主防災組織において緊急連絡網の確認や地域での要配慮者の把握について協力連携を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座において、非常持出品を持ち込み、家庭常備を啓発した。 ○ 左記の取組を実施した。 	<p style="text-align: center;">} 継続して取り組む。</p>

備える	○ ハザードマップを用いた避難経路や避難所を書き込むワークショップの開催により、いざという時の行動に備える取り組みを実施	○ 避難経路や災害発生個所等を書き込んだ防災マップを配付し、いざという時の行動に備えるための啓発を行った。	継続して取り組む。
-----	--	---	-----------

【庄原市】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組実施状況	令和2年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座にてハザードマップや県防災Web等での危険箇所の確認方法等の周知や、防災ハンドブック等の資料の配布 ○ 県が作成した、地震被害想定・ため池浸水想定等について出前講座等により周知 ○ ハザードマップの更新作業を行い、該当地区へ各戸配布及び市ホームページへの掲載 	左記の取組を実施した。	継続して取り組む。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座等にて避難情報や気象情報、前兆現象などの意味について周知 ○ 県防災情報メールの周知や防災Web等での情報収集等について広報等により周知 	左記の取組を実施した。	継続して取り組む。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座にて、災害時の必要な行動等について周知 ○ 総合防災訓練で住民の避難訓練を実施 ○ 避難行動要支援者名簿の更新 	左記の取組を実施した。	継続して取り組む。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民自治組織等を対象とした出前講座を実施 ○ 市職員が地域で開催される防災講演会への参加 ○ 住民、防災関係機関等の参加による総合防災訓練を実施 	左記の取組を実施した。	継続して取り組む。
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座、広報誌にて、非常持出品等の備えについて周知 ○ 自主防災組織への補助金の交付（防災活動、資機材整備事業） ○ 自主防災組織育成研修会内容を検討中 ○ 広島県「自主防災組織による避難を呼びかける体制づくり支援事業」を実施予定 ○ 避難行動要支援者名簿の更新 ○ 耐震診断・耐震改修の補助制度について、市のホームページへ掲載 	左記の取組を実施した。	継続して取り組む。

【大竹市】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組実施状況	令和2年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民（自主防災組織，自治会含む）に対し，身の周りの災害危険箇所，災害種別ごとの避難場所や避難経路を知る重要性を，出前講座や広報紙等で繰り返し広報及び周知 ○ 市内学校を対象に，身の周りの災害危険箇所，災害種別ごとの避難場所や避難経路を知る重要性等を含む出前講座を行う ○ 地域の防災の集いなどで，地域独自のハザードマップ作成の推進を継続 ○ 浸水深シール事業（デザインを市内小中学生から募集し表彰及び来年度市内各所に掲示）を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ○ デザインを市内小学生から募集し選考の実施中 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 浸水深シール事業として，津波浸水深シールを作成し市内公共施設等に掲示する。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行政防災無線や市の登録制メール等について，住民の声を反映させながら各種「情報収集手段」の運用面を充実できるよう検討 ○ 土砂災害特別警戒区域内にあるよう配慮者の希望世帯に個別受信機の配備 ○ 災害時に避難所開設情報が詳細に伝わるよう登録メールや防災無線，市HPなどに掲載を継続する 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施している。 ○ 左記の取組を実施している。 ○ 災害時に避難所開設情報が詳細に伝わるよう登録メールや防災無線，市HPなどに掲載している。 ○ 防災行政無線の間こえを改善するため拠点施設を中心にスピーカーの改修を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 土砂災害特別警戒区域内にある要配慮者の希望世帯に戸別受信機を配備する。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難方法や災害状況に応じた適切な行動，特に「屋内安全確保」を重点的に広報紙等でPR ○ 県の一斉地震防災訓練併せて市民に安全行動1, 2, 3のPRと訓練への参加をHP・広報等を通じて呼びかける 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難方法や災害状況に応じた適切な行動，特に「屋内安全確保」を重点的に広報紙等でPR。 ○ 県の一斉地震防災訓練併せて市民に安全行動1, 2, 3のPRと訓練への参加をHP・広報等を通じて呼びかける。 ○ 地震発生時の安全行動1, 2, 3のPR。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダー育成事業実施 ○ 自治会等で地域に即した学習会を開催 ○ 市内小学校に出向いて，避難時の行動や日頃の備えなど実践的な学びを提供する。 ○ 当市の「地域防災計画」及び「わがまち 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
備える			

	<p>プラン」に掲げる、災害時の「各家庭における備蓄」「家具等の転倒防止策の実施」を広報や出前講座などで周知を図るとともに「避難行動要支援者の支援、安否確認体制の構築」を継続的に促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織への防災資機材購入助成を行い、災害時の共助体制を整備 ○ 市の備蓄計画を整理し、現状に即して必要な備蓄の購入を行う 	<p>左記の取組を実施した。</p>	<p>継続して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国土強靱化地域計画を策定する。 ○ 避難所運営マニュアルを整備していく。
--	--	--------------------	--

【東広島市】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組実施状況	令和2年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 危機管理職員による出前講座を実施する。 ○ ハザードマップの見方を出前講座等で周知する。 ○ 市広報紙で防災関連特集を掲載する。 ○ 地域へ警戒レベル等の新制度を周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座を75回実施。 ○ 出前講座で周知した。 ○ 6月広報紙に掲載した。 ○ 出前講座で周知した 	<p>○ 継続して取り組む。</p> <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 警戒区域等の危険区域の把握方法を出前講座等で周知する。 ○ 継続して取り組む。 <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップの改訂・配布。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座等を通じて、市防災メールの登録促進、緊急告知ラジオの販売促進を行う。 ○ インターネット、スマートフォンで見られる気象情報等について、出前講座等を通じて紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広報紙、ラジオ CM、出前講座等あらゆる機会を通じ普及活動を行った。 ○ 出前講座を通じて紹介した。 	<p>○ 継続して取り組む。</p>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織の啓発冊子を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動に関する啓発冊子を作成した。 	<p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災の啓発冊子を作成する。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災講座を実施する。 ○ 防災活動リーダー養成講座（社会福祉協議会共催）を行う。 ○ 総合防災訓練を実施する。 ○ 職員を対象とした防災研修会を実施する。 ○ HUGを実施する。（社会福祉協議会へ委託） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和2年3月実施予定。 ○ 年5回の連続講座を実施した。 ○ 8月23日に実施した。 ○ 3回実施した。 ○ 年12回実施した。 	<p>○ 継続して取り組む。</p> <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災アドバイザーの派遣。
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作製した啓発冊子等の配布や出前講座等を通じ紹介する。 ○ 講座・啓発冊子等の配布や出前講座を通じ家具の耐震固定を啓発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 啓発用冊子等の配布や出前講座等を通じ紹介。 ○ 啓発用冊子等の配布や出前講座等を通じ啓発。 	<p>○ 継続して取り組む。</p>

【廿日市市】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組実施状況	令和2年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災相談員により、サロンや自主防災組織など様々な団体に対し、出前トークを実施する。 ○ 市民図書館に防災月間期間中、防災図書PRブースを設置する。 ○ 市広報誌に啓発記事を掲載する。 ○ 地域が行う防災訓練等に対し、助言や相談などによる支援を行う。 ○ 地域防災相談員により、地域の自主防災活動を支援し、市民からの防災に関する相談に対応する。 ○ コミュニティ単位の土砂災害ハザードマップを作成する。(地域住民と一緒に避難路や避難先を検討しながら、ワークショップによりハザードマップを作成する。) 	<p>左記の取組を実施した。</p>	<p>継続して取り組む。</p>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災相談員により、サロンや自主防災組織など様々な団体に対し、出前トークを実施する。 ○ 市ホームページ、市広報紙、出前トーク、土砂法説明会、土砂災害ハザードマップ作成のためのワークショップ、防災イベントなどで登録制防災メール「はつかいちし安全・安心メール」登録について啓発・周知する。 ○ 地域が行う防災訓練等に対し、助言や相談などによる支援を行う。 	<p>左記の取組を実施した。</p>	<p>継続して取り組む。</p>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災相談員により、サロンや自主防災組織など様々な団体に対し、出前トークを実施する。 	<p>○ 左記の取組を実施した。</p>	<p>○ 継続して取り組む。</p>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市広報誌に啓発記事を掲載する。 ○ 地域防災相談員により、サロンや自主防災組織など様々な団体に対し、出前トークを実施する。 ○ 市内の自主防災組織(28組織)が参加する防災情報交換会を開催し、組織間での情報共有や意識啓発をすすめる。 ○ 小学校・保育園の合同避難訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・地御前地区の小学校と保育園が連携し、あらかじめ決めている避難場所への避難訓練を行う。 	<p>左記の取組を実施した。</p> <p>○ 実施した。 ・地御前地区の小学校と保育園が連携し、あらかじめ決めている避難場所への避難訓練を行った。</p>	<p>継続して取り組む。</p>

<p>学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「チャレンジぼうさい」の継続実施（地域内で開催する事業に「防災」を絡めて年間シリーズ化することで、地域づくりが防災の取組につながる自然な循環を作る。） ○ 廿日市市防災士養成事業の実施。近年の集中豪雨や地震など頻発する自然災害に対し、市民の防災意識と地域の防災力強化を図るため、市内を会場として防災士の養成研修を実施する。また、養成された防災士に対しフォローアップ研修を行う。 ○ 小学校・中学校での防災教育災害時に、児童・生徒一人ひとりが備えや安全な行動等を認識し、自分の命は自分で守る力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ○ 左記の取組を実施した。また、防災に関する専門性を持った職員を育成するため、平成31年度は5名の市職員の養成を行った。 ○ 左記の取組を実施した。 	<p>継続して取り組む。</p>
<p>備 える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災相談員により、サロンや自主防災組織など様々な団体に対し、出前トークを実施する。 ○ 市ホームページ、市広報紙、出前トーク、土砂法説明会、土砂災害ハザードマップ作成のためのワークショップ、防災イベントなどで登録制防災メール「はつかいちし安全・安心メール」登録について啓発・周知する。 ○ 市広報誌に啓発記事を掲載する。 ○ 老朽化した佐伯・吉和・宮島地域の防災行政無線（同報系）設備をデジタル設備に更新する。 	<p>左記の取組を実施した。</p>	<p>継続して取り組む。</p>

【安芸高田市】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組実施状況	令和2年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップの市HP掲載に加え、市内医師会・歯科医師会に配付し、待合室で掲示 ○ 自主防災組織主催の防災訓練に危機管理課職員を派遣 ○ Web版ハザードマップの作成【追加】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施中。 ○ R2年3月末現在で、自主防災組織主催の防災訓練等に危機管理課職員を31回派遣している。 ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。 ○ Web版ハザードマップを更新する。 【新規】 ○ ハザードマップ(紙面)を市内全各戸に配布する。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織主催の防災訓練を支援 ○ お太助フォンを通じた避難情報の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○ R2年3月末現在で、自主防災組織主催の防災訓練25件に対し、204,450円の補助金を交付している。 ○ 2組織に対し、広島県自主防災アドバイザーを派遣して活動の支援を行った。 ○ R2年3月末現在で、避難準備・高齢者等避難開始1件、避難勧告1件をお太助フォンで広報した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織主催の防災訓練を支援 ○ 避難行動要支援者の把握、避難支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○ R1年3月末現在で、自主防災組織主催の防災訓練25件に対し、204,450円の補助金を交付している。 ○ 2組織に対し、広島県自主防災アドバイザーを派遣して活動の支援を行った。 ○ 新規対象者に通知し、避難行動要支援者名簿の更新を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。 ・同意者名簿を更新し、避難支援等関係者に提供する。 ・個別計画の作成を促進する。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織主催の防災訓練に、消防署員や消防団員を派遣 ○ 防災訓練の開催【追加】 ・市全体の避難訓練を実施する。 ・J-ALERTによる緊急地震速報訓練で、自主防災組織や市民に安全行動1-2-3の実施を呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織主催の防災訓練に、消防署員を10回・消防団員を5回派遣している。 ○ R1.9.8に災害時の外国人避難対応訓練を実施した。(参加者：約50人) ○ R1.11.5にJ-ALERTによる緊急地震速報訓練で、自主防災組織や市民に安全行動1-2-3の実施を呼びかけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織未結成地区の会議において、解消に向けた防災講演会を実施 ○ 自主防災組織連絡会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織未結成地区において、1件の新規結成があった。 ○ R1.6.6に自主防災組織連絡会を開催し、防災に係る情報共有を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。

備える		○ 防災士資格取得の助成を行い、防災士5名を養成した。	○ 防災リーダー養成講習会を開催する。
-----	--	-----------------------------	---------------------

【江田島市】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組実施状況	令和2年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内出前講座による、市民への防災情報の周知 ○ 市広報紙による防災情報の掲載により市民に広く情報を発信 ○ 防災リーダーニュース紙による防災情報を発信（6月・9月・12月・3月） ○ 土砂災害警戒区域等を踏まえたハザードマップの更新 ○ web版ハザードマップの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ○ 土砂災害警戒区域等を踏まえたweb版ハザードマップの作成（3月完成予定） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民への防災情報電話・FAX・メール等で情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座を通し、町なか・家なか訓練を実施し、屋外、屋内での防災対策を広く市民に周知 ○ 各自治会で行われる実働を伴う防災訓練を支援 ○ 出前講座と合わせて自治会の防災訓練を支援 ○ 江田島市総合防災訓練（市民参加型）への各自治会等の参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ○ 左記の取組を実施した。 ○ 江田島市防災訓練（市民参加型）実施（6月2日実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座を通しての防災についての知識・技術を広く市民に周知 ○ 地域防災リーダー連絡会を実施（各地域の防災リーダーによる意見交換や事例等を発表し、情報の共有化・学習を行い、地域での防災活動に役立てる。） ○ 市町村防災力強化出前研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ○ 左記の取組を5/25・12/7に実施した。 ○ 左記の取組を11/10に実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 防災リーダー研修会（既存のリーダー対象）の実施。
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダー育成研修会を開き、新規のリーダーを育成 ○ 防災倉庫（プレハブ型）を設置し、災害時の備蓄場所の確保（市内2箇所に設置） ○ 避難所環境充実に向けた資機材選定の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を9月1日実施した。 ○ 左記の取組を12月に実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 防災倉庫（プレハブ型）を設置し、災害時の備蓄場所の確保。（市内7箇所に設置） ○ 継続して取り組む。 【新規】 ○ 防災協力事業所登録の推進。

【府中町】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組実施状況	令和2年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災出前講座において、災害リスク、とるべき避難行動等について周知 ○ 土砂災害ハザードマップを作成し、各戸配布、ホームページへ掲載 ○ 総合防災マップを更新し、ホームページに掲載 	<p>左記の取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年度末更新に向け作業中。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 作成した総合防災マップの広報・周知を図る
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災出前講座、広報誌やホームページ等において、緊急情報や防災情報等の入手方法について周知 ○ 防災情報メールの多言語化、ライン連携を整備し、防災出前講座、広報誌やホームページ等において周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 整備した情報取得手段について、出前講座や広報誌等にて防災情報の確実な取得を促した。 ○ 出前講座や訓練において、制度の周知や登録の促進を行った。 	<p>継続して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気象情報や防災情報の確実な取得についての広報・周知を図る。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土砂災害警戒区域等の自主防災組織を対象とした避難訓練を実施 ○ 自主防災組織の個々の実情に合わせた防災訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 府中東小学校区域を対象に12/14に訓練を実施した。 ○ 自主防災組織主体の防災訓練に参加し、訓練の講評等を行った。 	<p>継続して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土砂災害や浸水等、地域の実情に合わせた防災訓練を実施し、住民の避難行動についての意識や、防災に関する知識・意識の向上を図る。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校児童を対象とした防災授業や体験学習を実施 ○ 自主防災組織等各種団体を対象とした出前講座を実施 ○ 防災リーダーの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内小中学校の防災授業や体験学習を通して、防災に係る知識・関心の向上に努めた。(4小学校・1中学校にて実施) ○ 自主防災組織等を対象に29回出前講座を実施した。 ○ 広島市防災士養成講座にて8名が受講し、全員合格した。 	<p>継続して取り組む。</p>
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織の結成 ○ 自主防災組織等各種団体を対象とした出前講座を実施 ○ 自主防災組織活動の支援 ○ 災害協定機関との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新たに1団体、自主防災組織を結成した。 ○ 自主防災組織等を対象に29回出前講座を実施した。 ○ 自主防災組織における防災活動や資器材の整備に対する補助を行った。(11団体、1,737,791円) ○ ドローン協定を締結した。また、町内企業や建設業者との協定に向けて、調整中。 	<p>継続して取り組む。</p>

【海田町】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組実施状況	令和2年度の取組等
知 　　る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広報誌、町ホームページ、チラシ等を活用し、避難勧告等避難に関する情報について、発令の目的、住民がとるべき行動について具体的に周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広報誌、町ホームページ、チラシ等を活用し、住民に対し避難に関する情報を具体的に周知した。また、町主催行事や各自治会・自主防災組織を対象とした出前講座、小中学校の教職員を対象とした防災講話等を実施し、情報の周知・徹底に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気象情報、避難に関する情報等、災害に関する情報等の防災情報メール、防災情報電話をはじめ、災害情報の収集に関する手段について、広報（周知・啓発）を実施する。 ○ 土砂災害ハザードマップの作成及び配付（ワークショップを実施し、住民の意見や地域特有の情報を盛り込んだマップを作成）を行う。 ○ 防災に関する情報を1冊にまとめた防災ハンドブックを作成し、広く住民に周知することにより防災意識向上に係る啓発を行う。 ○ 防災情報メールの多言語化（英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・インドネシア語・タガログ語）を実施し、外国籍の住民に対する情報配信の体制を強化する。 ○ 土砂災害等発生の危険性が高い箇所に防災ライブカメラを設置し、状況を監視できる体制を整備する。また、パソコン・スマートフォンにより住民の閲覧も可能とすることで、自主的な避難対策への活用も期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広報誌や町ホームページの他、町主催行事や各自治会・自主防災組織を対象とした出前講座等の機会を活用し、町が整備している情報伝達手段について周知を図るとともに、その活用を促した。インターネットやスマートフォン等を活用できない高齢者に対し、より一層の周知を行い、活用について促していく必要がある ○ 土砂災害警戒区域の指定に伴い作成している土砂災害ハザードマップに関し、住民の意見及び地域特有の情報を盛り込むことを目的として、ワークショップ（全4回）を開催した。完成物は令和2年4月に対象となる小学校区の全世帯及び小中学校、公共施設等へ配布する予定である。 ○ 防災に関する一般的な事項をまとめた防災ハンドブックを作成している。作成にあたり、住民にとってより使いやすいものとするため、パブリックコメントを実施し、内容に関し広く意見の募集を行った。完成物は令和2年4月に町内全戸へ配布する予定である。 ○ 外国籍住民に対する迅速かつ適切な情報配信の体制を強化するため、防災情報メールの多言語化を実施した。登録者数の増加に向けた周知の徹底が今後の課題である。 ○ 平成30年7月豪雨災害時、土砂による被害を受けた箇所を監視するため、防災ライブカメラを町内5箇所に設置した。パソコン・スマートフォンにより随時閲覧が可能である旨、住民に対し周知を行っている。 ○ 役場庁舎に気象観測装置を設置し、独自に気象観測・監視が実施できる体制を整備した。また、観測情報については住民の閲覧も可能としており、早期の避難行動開始の一助となることを期待している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 引き続き取り組む。 <p>【追加事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災情報伝達手段の1つとして、新たにLINEアカウントを開設し、避難情報の他、防災に関する情報の発信を行う。

<p>行動する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合防災訓練を実施し、住民に対する防災・減災意識の啓発を図る。 ○ J-ALERTによる訓練を活用し、身体防護活動及びプラスワン訓練を実施する。 ○ 消防団と協同し、参集体制及び情報伝達手段の整備・確認、車両等装備品の整備（修繕等）を実施し、災害発生時における迅速な対応に向けた準備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6月9日に総合防災訓練を実施した。住民に対しては適切な避難経路及び避難所の選定、迅速な避難行動の実施を訓練メニューとして付与した。 ○ J-ALERTによる緊急地震速報訓練（11月5日）を活用し、身体防護活動及びプラスワン訓練を実施した。来庁者の安全確認や施設の被害状況の確認等、職員が主体的に訓練に参加した。 ○ 災害発生時における消防団活動の適切かつ迅速な実施に向け、参集体制や装備品の確認・整備を行っている。平成30年7月豪雨災害及び以降に実施した災害対応の反省等を踏まえ、団員間での連絡手段の確保（無線機等の整備）及び充実が今後の課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き取り組む。 ○ 引き続き取り組む。各自治会・自主防災組織と協同し、災害の発生に備えた平素からの準備（避難場所の確保、組織内における連絡体制の整備等）を進める ○ 消防団と協同し、災害発生時における迅速な対応が実施できるよう、平素からの準備（車両等装備品の適切な維持管理等）を進める【継続】
<p>学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員を対象とした防災講話、水防訓練を実施し、防災・減災に関する意識の醸成及び災害発生時における対応力の強化に努める。 ○ 自主防災リーダー育成事業の実施内容を工夫し、参加者数の増加を目指すとともに、住民に対する防災・減災意識の醸成を図る。 ○ 地域防災力の向上、自主防災組織の編成や活発な活動を促進することを目的とした自主防災リーダー育成講座を継続して実施することにより、住民の防災・減災意識の醸成を図る。 ○ 自主防災会又は自治会に所属し、かつ自主防災リーダーに認定されている者を対象とし、防災士資格取得に係る費用の補助を行う。 ○ 平成30年7月豪雨に係る記録写真等の展示を役場庁舎他公共施設において実施する。災害の記憶を風化させることなく、教訓として住民自らの防災・減災に関する意識の向上・継続に生かすことを目的とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新規採用職員に対する防災教育を実施し、防災・減災に関する意識の醸成及び災害発生時における対応力の強化に努めた。 ○ 参加者数の増加、様々な知識を習得できる場を提供するため、広島県が主催する育成講座等への参加を促す等、多様な学びの場を提供することに努めた。 ○ 自主防災リーダー育成講座を年4回開催し、住民の防災・減災意識の醸成を図った。また、講座の実施内容についても、広島県自主防災リーダーを活用するなど、工夫を凝らした。 ○ 実施した。 ○ 平成30年7月豪雨災害に係る記録写真の展示を全2回にわたり、役場庁舎及び町内公共施設において実施した。住民自身の防災・減災に関する意識の向上に大きく寄与したものと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き取り組む。 【新規】 ○ 住民を対象とした防災に関する講話の実施について、外部から講師を招聘するなど、その充実化を図る。 ○ 引き続き取り組む。
<p>備える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災教室、防災訓練等において、各家庭において実践すべき備えについて、実践例等を踏まえながらより具体的に啓発を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広報誌や町ホームページの他、町主催行事や各自治会・自主防災組織を対象とした出前講座等の機会を活用し、平素からの「家族会議」の実施やローリングストック、ハザードマップの活用等、各家庭において実践すべき備えについて具体的に周知・啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き取り組む。

<p>備える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害対応時における職員の安全性を強化するため、装備品の一部を更新する（ヘッドライト、先芯・踏抜防止板入長靴）。 ○ 職員に対し、「知る・察知する・行動する・学ぶ・備える」各項目を踏まえたチェックリストを作成させ、防災意識の向上を図る（平成28年度より毎年度実施）。 ○ 災害情報を共有するためのシステムを導入し、迅速かつ的確な災害対応を可能とする体制を整備する。 ○ 地域防災計画や各種マニュアルの更新等を適宜実施する。また、それらを活用した体制の整備を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害対応時における職員の安全性確保のため、長靴（先芯・踏抜防止板入）及びヘッドライトを整備した。 ○ 災害情報共有システムを導入し、迅速に正確な情報を共有できる体制を整備した。 ○ 地域防災計画を始め、防災施策に関するその他の計画やマニュアルの整備・更新を行った。また、整備したマニュアルを活用した職員への教育（具体的には避難所運営マニュアル）を年度末までに実施する予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き取り組む。（備蓄に関し、民間企業等と協定締結の推進等を含め、災害発生時において適切かつ迅速な対応が実施できるよう、準備を進める。 ○ 引き続き取り組む。 <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難所運営業務の円滑化を目的として、タブレットを導入するとともに、職員の習熟に努める。
------------	---	---	---

【熊野町】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組 実施状況	令和2年度の取組等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第一小学校区、第三小学校区 のハザードマップを作成し、危険箇所の周知を行う。 ○ 広報誌、町ホームページを利用した災害危険箇所の周知及び出水期前の注意喚起を実施する。 ○ 雨量計（POTEKA）による地域の雨量などの周知を行う。 ○ 熊野町防災の日条例において定められた防災週間に災害リスク等の周知を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第一小学校区、第三小学校区 のハザードマップを作成し、3月 末までに該当地区に対し全戸 配布を実施予定 ○ ハザードマップ作成時にワ ークショップを計2回開催し、 ハザードマップ及び警戒レベル や土砂災害警戒区域等の防災情 報の周知を図るとともに、図上 訓練（D I G）を実施した。 ○ 左記の取組を実施した。 ○ 防災週間に写真展を実施 ○ 指定避難所にハザードマッ プや対応する災害の種類を掲載 した避難所総合案内板を設置 ○ 雨量計（POTEKA）を 新規に4箇所設置 （計5箇所） 	<ul style="list-style-type: none"> 【新規】 ○ 平成30年7月豪雨による 災害の教訓など後世に継承 するため、平成30年7月豪 雨被災誌を作成する。 【新規】 ○ 防災フェアを開催し、災 害や防災・減災施策への理 解を深め、自助・共助の意 識の醸成をはかる。（4月 開催予定でしたが、延期。 時期未定） 【新規】 ○ 熊野町防災・減災まちづく り条例の制定について、町民 に周知し、自助、共助の意識 の醸成を図るため、パンフレ ットを作成する。 【継続】 ○ 広報誌、町ホームページを 利用した災害危険箇所の周 知及び出水期前の注意喚起 を実施する。 【継続】 ○ 雨量計（POTEKA）による地 域の雨量などの周知を行う。 （5か所） 【継続】 ○ 熊野町防災の日（防災週 間）に合わせて防災意識の醸 成を図るためパネル展示等 を行う。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県ガイドラインに基づき発 令基準等の見直しを行い、適 切な避難行動について広報 誌等で周知する。 ○ 気象情報・避難情報の入手 方法について、引き続きHP 等で周知を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発令基準の見直しとマニ ユアルの更新を行い、気象情 報の入手方法や、警戒レベルと 避難のタイミングなどにつ いて町ホームページ・広報に て周知。併せて自主防災組織・ 自治会を対象に説明会を開催 した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 【新規】 ○ 防災行政無線を更新し、住 民が子局スピーカーやメー ルのほか、電話、FAX、ア プリ等で防災情報を受け取 ることのできる仕組みを整 える。 （令和2年度未完了予定）

<p>行動する</p>	<p>○ 自主防災組織に対し、避難訓練などの運営支援を行い、地域の防災力を強化する。</p>	<p>○ 避難訓練の運営支援（2件）</p>	<p>○ 継続して取り組む。 【新規】 ○ 県の取組に合わせ、避難の呼びかけ体制構築支援事業費補助金交付要綱を制定し、自主防災組織における避難の呼びかけ体制づくりを支援する。</p>
<p>学 ぶ</p>	<p>○ 出前講座を実施し、住民の防災への関心を高める</p>	<p>○ 町内各地区における地域懇談会にあわせた出前講座の実施（9回）</p> <p>○ 県モデル事業による自主防災組織の運営支援（2団体）</p> <p>○ 広島市及び安芸郡4町合同での防災士講座を実施</p> <p>○ 中学三年生を対象にDIG訓練を交えた出前講座を実施</p> <p>○ 子育て世帯を対象に、出前講座を実施予定（3/11）</p>	<p>○ 継続して取り組む。 【新規】 ○ 熊野町防災・減災まちづくり会議を開催し、自助・共助の意識の醸成を図り、災害復興計画に掲げる町の施策について、意見集約を行う。 【新規】 ○ 自主防災組織を対象とした活動内容や運営方法など先進事例に関する勉強会を開催する。</p>
<p>備 える</p>	<p>○ 防災マップ作りなどソフト面に特化した自主防災組織の補助制度を整備し、適切な避難行動につなげる。</p> <p>○ 自主防災組織の設立支援を行い、地域の防災力を向上させる。</p>	<p>○ 補助要綱の改正により、防災マップ作成費用、アドバイザー派遣費用を補助対象に追加</p> <p>○ 一時避難場所修繕補助金交付要綱の制定、修繕1か所</p> <p>○ 自主防災組織の新規設立（4団体）</p> <p>○ 町内企業と資機材、生活物資の供給及び避難の協力に関する協定を締結</p>	<p>○ 継続して取り組む。 【継続】 ○ 一時避難場所について 修繕補助金を支出し、地域住民が避難しやすい環境を整備する</p>

【坂町】〔資料1の再掲〕

行動目標	取組内容	令和元年度の取組実施状況	令和2年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地震防災マップ」・「津波・高潮ハザードマップ」, 「土砂災害ハザードマップ」を転入者等に配布し啓発を実施 ○ 土砂災害警戒区域の確認方法を広報誌や町HPで周知 (土砂災害ハザードマップについては町内全地区の警戒区域指定が終了予定であるため、新たに作成する) ○ 町内全域の土砂災害ハザードマップの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ○ 予定通り令和元年度中に土砂災害ハザードマップを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ○ 継続して取り組む。 【新規】 ○ 令和元年度作成の町内全域土砂災害ハザードマップの配布・広報誌やHPでの周知
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災行政無線により災害情報を周知すると共に、町の自主避難先の開設情報や高台等への駐車場確保に関する情報を周知 ○ 町の登録制メールによる、災害情報や避難所等の開設情報の周知 ○ エリアメールによる、災害情報の周知 (NTT ドコモ, KDDI, ソフトバンク) ○ 戸別受信機の無償貸与を開始し、避難情報をより確実に伝達 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施。 ○ 楽天モバイルがエリアメールサービスを開始することに伴い新たに配信キャリアの追加を実施。 ○ 貸与した戸別受信機に対して難聴世帯に個別アンテナ設置・役場庁舎設置アンテナの増設を行い、避難情報をより確実に伝達できるように実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 【新規】 ○ 消防団における登録者数増強 (令和元年度は副分団長以上の登録)
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難施設をいち早く開設する体制を庁内で整備 ○ 避難準備・高齢者等避難開始を発令する前であっても、災害の危険性が考えられる場合、また夜間になる前に自主避難所を開設 ○ 消防団と協働し、町内全地域の災害に対応可能な体制を整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 【新規】 ○ 消防団の主要な連絡手段である移動系無線機についてデジタル更新・配備数の増強を行う。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダー養成講座開催・防災士養成講座の受講 ○ 防災士養成講座受講者の募集 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 【新規】 ○ 自主防災会養成講座開催
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難情報発令時に「非常持出品の携行」について防災行政無線等で周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。

備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共施設において非常持出品の準備を提唱。公共施設において非常持出品の展示し啓発実施 ○ 町広報誌においても備蓄の呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> 左記の取組を実施。 ○ 最低限の備蓄物資（飲料水・毛布・食料）について分散備蓄を行った。 	継続して取り組む。
-----	---	---	-----------

【安芸太田町】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組実施状況	令和2年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土砂災害警戒区域や浸水想定区域が更新された地域の各世帯に対して、防災マップを配布など、危険な場所、避難すべき場所、避難経路の安全等の周知について取り組む。 ・役場のGISシステムに反映された、浸水想定区域、新規に指定された土砂災害警戒区域を反映したハザードマップを更新、作成し本年度中に配布を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度、安芸太田町防災マップの更新（新規の土砂災害警戒エリア、浸水想定区域の繁栄）を行い、全戸に防災マップの配布を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ・県の土砂災害等の警戒エリアの再調査等があったため、令和2年度も令和元年度と同様に土砂災害警戒区域や浸水想定区域が掲載された防災マップの更新を行い、防災マップを配布など、危険な場所、避難すべき場所、避難経路の安全等の周知について取り組む。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風や梅雨前線等の接近時に、防災無線による全戸放送や防災メールによる気象情報等の提供など、避難行動につながる情報の発信に取り組む。 ・国が改訂を行った5段階の防災情報提供に対応した形で、住民への防災行政無線等での避難勧告等の放送、周知を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度の出水期から住民に気象情報、避難情報を伝達する際に、5段階防災情報を付与する形で提供を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ・台風や梅雨前線等の接近時に、防災無線による全戸放送や防災メールによる気象情報等の提供など、避難行動につながる情報の発信に取り組む。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風や梅雨前線等の接近時において、消防団の屯所待機に併せて、避難施設の早期開錠をするなど、住民等の安全が確保できる体制を整備に取り組む。 ・平成30年度に太田川河川事務所と作成した「太田川水防災タイムライン（施行版）」を運用し、各種機関と連携して防災対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度の台風上陸時、土砂災害等が警戒される場合は、「太田川水防災タイムライン（試行版）」の運用を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ・台風や梅雨前線等の接近時において、消防団の屯所待機に併せて、避難施設の早期開錠をするなど、住民等の安全が確保できる体制を整備に取り組む。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広報物の配布のほか、避難訓練などの実動訓練を実施し、住民等の防災知識の向上に努める。 ・平成31年度中に気象予報士等による気象情報についての講演、及び水防災タイムラインの住民向け説明会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和2年2月22日（土）に「安芸太田町防災シンポジウム」を開催し住民へ防災についての啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ・広報物の配布のほか、避難訓練などの実動訓練を実施し、住民等の防災知識の向上に努める。
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 備蓄物資の定期更新を行うとともに、定型的な物資をパッケージ化するなど、搬送体制の効率化を図る。 ・備蓄物資の定期的な更新を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 備蓄物資の確認を行い、備蓄物資の更新を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 ・備蓄物資の定期更新を行うとともに、定型的な物資をパッケージ化するなど、搬送体制の効率化を図る。

【北広島町】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組実施状況	令和2年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダー研修, 防災講習, 出前講座, 住民説明会, 防災訓練, 広報番組等によりハザードマップを活用した災害危険箇所等及び河川浸水想定, 避難場所等の確認・活用方法を周知 ○ 土砂災害警戒区域等の指定及び公表が済む予定の地区の住民に土砂災害警戒区域等の指定について住民説明会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民向けの講習や防災講座を通じて、地域の危険を知ってもらう活動を行った。 ○ 広島県土砂法指定推進担当による住民説明会を実施した。 	<p>継続して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害警戒区域や浸水想定区域、ため池浸水想定区域等を継続して住民に知らせる。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動の判断材料となる気象情報, 河川情報及び避難情報の意味と, 取るべき行動, 並びに情報の入手手段について, 防災教室, 出前講座, ホームページ, 防災リーダー研修, 住民説明会, 防災訓練, 広報誌, 広報番組等により周知 ○ 防災教室, 出前講座, 住民説明会, 防災訓練等の機会に「県防災情報メール」及び、「北広島町防災安全お知らせメール」のチラシを配布し, 登録を促進 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1日にテストメールを配信し, 登録を呼びかけ 	<p>いずれも実施済み。今後も継続してメールや Yahoo! 防災速報アプリの登録呼びかけを行う。</p>	<p>継続して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島県防災 Web の活用を促す。 ・テレビのデータ放送をチェックする習慣をつけていただく。 ・広島県の防災メールと北広島町の防災メールの登録促進。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダー研修, 防災教室, 出前講座, 住民説明会, 防災訓練, 広報誌, 広報番組等で災害から命を守るため必要な行動(災害の種類に応じた自らの判断による避難行動)や危険を感じた時は, 避難勧告等の有無にかかわらず, 避難行動を行うことを周知 ○ 地域で図上訓練後, 実際にまち歩きを行い, 危険箇所等を再確認することの周知 ○ 平成30年7月豪雨や, その後の台風襲来の際の住民避難等について, 自主防災会との研修会を計画 ○ 警報発令時等自主防災組織の実際の行動についてのイメージができていないか訓練等を通じて再確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動は、必ずしも避難所に避難することではなく、「安全な場所」に移動すること。自宅が(災害想定区域に該当しない)安全な場所であれば、特に夜間等においては無理に外に出ないことを出前講座を通じて周知した。 	<p>継続して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必ずしも避難所ではなく、指定緊急避難場所やその他安全な場所への移動が避難であることを伝える。 ・自宅が安全な場所であれば、自宅に留まるのも一つの身を守る行動であることを伝える。 <p>○ 継続して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町が開設する避難所と自主防災組織や地域で開設する避難所の周知。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織設立の促進のため, 各地域からの申し出により出前講座を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年7月豪雨や, その後の台風襲来の際の住民避難等について, 自主防災会との研修会を計画 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダー養成講習や出前講座等、最低限の学ぶ機会の提供は行った。住民はもちろんだが、職員全員が災害発生時になすべきことについて学ぶ機会が必要だと感じた。 	<p>○ 継続して取り組む。</p> <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機会の提供を継続して実施するが、工夫を加え同じことをしないようにする。

<p>学ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災リーダー養成講習を実施 ○ 音声告知放送や防災行政無線を通じ、地震に対する避難行動訓練を実施 ○ 緊急地震速報や、Jアラート一斉放送訓練など音声告知放送や防災行政無線を通じ、地震に対する避難行動訓練を実施 ○ 自主防災組織の活動の活性化を図るため、県が作成した「自主防災組織活性化マニュアル」を各自主防災組織に配付 		
<p>備える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行政等が発信する情報や、県防災Web、県防災情報メール、町防災安全お知らせメールの利用や登録を出前講座、防災訓練等で広めることを実施 ○ 出前講座、防災リーダー研修、ホームページ等を通じて、懐中電灯、着替え、3日分の食糧、常備菜などの非常持出品の備え及び消費期限の確認の必要性を周知 ○ 避難所運営マニュアル（自主防災会用）を作成し、各自主防災会に配付 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主に前出講座を通じて必要性を訴えた。 ○ 災害発生時の対応を見直し、次はよりスムーズに行動できるよう、少しばかりではあるが、検証・改善を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。 【新規】 ・備蓄品の準備や、連絡網の構築等、事前に準備できることは実施してもらおう。 ・住民への呼びかけだけでなく、私たち職員が「なすべきこと」を認識してもらおうことが必要。 【新規】 ・情報の整理整頓をスムーズに行えるよう、既存のシステム等を活用した体制をつくる。

【大崎上島町】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組実施状況	令和2年度の取組等
<p>知る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土砂災害警戒区域の見直しによる、ハザードマップを新規に作成し、全戸配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップ作成中。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 津波ハザードマップを更新し全戸配布する。
<p>行動する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時対策本部の情報伝達訓練実施 ・土砂災害図上訓練を実施し、情報伝達業務の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 未実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
<p>学ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織育成研修会実施 ・自主防災組織の訓練等の開催を支援し、多くの組織で訓練実施が可能となるよう取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による避難訓練を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
<p>備える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 備蓄計画に基づく備蓄品等整備 ○ 自主防災組織の新規立ち上げ ・自主防災組織が未設置の地区に対して、新規立ち上げを依頼する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度の備蓄は整備済 ○ 1地区設置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。

【世羅町】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組実施状況	令和2年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ チラシ, 広報誌, ホームページ, 防災教室, 出前講座等、あらゆる機会を通じての災害危険箇所の周知。 ○ ハザードマップの更新と全戸配布（自治組織ごとで作成したもの）（ハザードマップの更新完了） 	<p>左記の取組を実施した。</p>	<p>継続して取り組む。</p>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座や地域の会合等で、災害発生の前兆現象, 発生時の対応, 災害情報や気象情報, 避難情報の伝達方法・手段（行政防災無線・エリアメール等）の周知。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座などのあらゆる機会を通じて避難情報の周知に努めるとともに、早めの避難の重要性を説明 ○ 消防団や民生委員などの他の地域団体との連携強化 	<p>左記の取組を実施した。</p>	<p>継続して取り組む。</p>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町民向けの防災講習会・訓練の実施 ○ 自主防災組織や住民自治組織を対象とした防災講座を実施 ○ 地域の防災リーダー, 防災士の育成 	<p>左記の取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の防災リーダー, 防災士の育成。 ・ 福山防災大学に世羅町から9人受講し、全員修了、7人が防災士の資格を取得した。 	<p>継続して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福山市が開催している福山防災大学に世羅町から参加予定。
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災センターの備蓄品の整備・計画的に備蓄品の整備を行う ○ 各関係機関と連携して、講習会などで非常持出品の展示などを実施して啓発活動を実施 	<p>左記の取組を実施した。</p>	<p>継続して取り組む。</p>

【神石高原町】

行動目標	取組内容	令和元年度の取組 実施状況	令和2年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップの作成（土砂法警戒区域指定対応） ○ 自主防災組織による避難所再編の確認 ○ 自主防災組織連絡協議会の防災研修会の開催 ○ 防災情報入手手段の周知（住民向けメール配信システム導入済） 	<p>左記の取組を継続実施中。</p>	<p>継続して取り組む。</p>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難勧告等判断マニュアルの改正 ○ 防災情報の周知（自主防災組織会長へ説明） 	<p>左記の取組を継続実施中。</p>	<p>継続して取り組む。</p>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動要支援者名簿等を活用した避難訓練（自主防災組織に働きかけ） ○ 指定避難所の再編 ○ 自主防災組織連絡協議会による図上訓練 	<p>左記の取組を継続実施中。</p>	<p>継続して取り組む。</p>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災訓練助成制度（上限5万円）の活用 ○ 自主防災組織連絡協議会による防災研修 	<p>左記の取組を継続実施中。</p>	<p>継続して取り組む。</p>
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織への働きかけ ○ 防災リーダーの養成（防災士取得等） ○ 防災研修会等での非常持出品の周知・啓発 ○ 自主防災組織で備蓄物資管理 	<p>左記の取組を継続実施中。</p>	<p>継続して取り組む。</p>